

分会ニュース

またも、ブレーキディスク 取付けボルトが折れる！！

9月25日、大阪第一車両所でJ46編成14号車No. 2台車ブレーキディスク取付けボルトが折れていることが、台車調査（SEKがボルトの超音波探傷）時に発見されました。

このJ46編成は、翌日9月26日のA2交検の車両であり交検担当者には台車交換の説明は一切ありませんでした。朝から技術の社員や作業中に内藤所長はじめ助役が見に来ていましたが、なぜ社員に説明もしないのでしょうか。

また、会社はボルトの折損は「問題はない」と言っていますが、2001年5月に静岡を走行中にボルトが折損し民家の屋根を直撃し破損させました。それでも安全に問題はないのでしょうか？

なぜ、台車交換なのか、組合員が現場管理者に問いました。

所長以下管理者が、14号車No.2台車を見ているにもかかわらず「忘れた」「知らない」「昨日は休んでいたから」と全く無責任な返事なのです。

所長が、朝の総点呼の訓示で「一体感」等と言っていたにもかかわらず、現場には一切の説明・連絡せず隠密に台車交換を行い、その台車は、浜松工場に運びました。

日頃会社は、安全第一と言っていますが、このような隠蔽体質は以前と変わりません。この体質では、安全は守れません。

私たちJR東海労大阪第二車両所分会は、このような会社の安全軽視の体質に警鐘乱打します。

職場に働く組合員、社員の皆さん、安全確保のために声を上げていきましょう。

